

令和5年度 公益財団法人佐賀県スポーツ協会 スポーツ功労者一覧

No	ふりがな 氏名	推薦団体名	功 績 概 要
1	さがんとす あんだー じゅうはち サガン鳥栖 U-18	(一社)佐賀県 サッカー協会	○高円宮杯JFAU-18サッカープレミアリーグ2022ファイナルで初優勝し、真の高校年代日本一に輝いた。 ○チームから年代別の日本代表に多くの選手が選出され国際大会で活躍するとともに、チーム出身の29名がプロチームに所属しており、海外の強豪チームやJリーグで活躍している。 ○佐賀県のスポーツを活性化し県を代表する日本有数のチームとなっている。
2	さかた つねかず 坂田 恒和	佐賀県軟式野 球連盟	○唐津市軟式野球連盟の副会長・理事長として、競技の普及振興、組織運営と体制整備に務め、西日本軟式野球大会をはじめ各種大会の運営に尽力した。(16年) ○佐賀県軟式野球連盟の役員として、県の軟式野球の発展に貢献し、佐賀県で初開催の天皇賜杯全日本軟式野球大会の開催に尽力し成功に導いた。
3	おくむら ゆたか 奥村 豊	(公財)唐津市 スポーツ協会	○唐津市のミニバスケットボールや中学生を中心に指導し、競技の普及振興や競技レベルの向上に大きく貢献し、唐津市バスケットボール協会の会長(15年)・副会長(13年)として長きにわたり、円滑な組織運営と充実拡大に努めている。 ○SAGA2024 国スポ・全障スポバスケットボール競技の開催準備と大会成功に向け中心になって尽力している。
4	いしもと きよふみ 石本 清文	伊万里市 スポーツ協会	○伊万里市体育協会、スポーツ協会会長(8年)・副会長(6年)として、円滑な組織運営と充実尽力した。 ○県民スポーツ大会や市主催の行事、スポーツ推進審議会など会議やスポーツ行事の運営等に多大な力を発揮され、伊万里市のスポーツの発展や競技力向上に大きく貢献した。
5	みずかみ ただひろ 水上 忠弘	伊万里市 スポーツ協会	○平成13年より長きにわたり、伊万里市バレーボール協会会長(22年)を務め、競技の普及発展に大きく貢献した。 ○高校生を対象にした広域大会の開催や親子バレーボール大会を創設し、地域全体の技術力の向上や親子でバレーボールを楽しむ機会の創出に尽力した。
6	まつお ひでまさ 松尾 英正	(一財)武雄市 体育協会	○昭和48年から現在まで、武雄市及び杵藤地区の大会の運営や後進の指導など相撲競技の振興に大きく貢献している。 ○武内町相撲連盟会長、顧問として、長年にわたり、武雄市の相撲競技の普及・発展に尽力している。(23年間) ○佐賀県相撲連盟理事として、県内や九州大会等の運営に携わり競技の振興に大きく貢献した。(15年間)
7	かわはら ちあき 川原 千秋	(一財)武雄市 体育協会	○体育協会会長及び副会長(6年)、理事(10年)として、強いリーダーシップを発揮し、円滑な組織運営と組織の充実と努めるとともに、ニュースポーツの普及に尽力し、武雄市のスポーツ振興発展に多大に貢献した。
8	てらやま まさふみ 寺山 正文	(一財)鹿島市 スポーツ協会	○鹿島市剣道連盟の役員として、連盟の諸活動と健全な運営、各種大会の準備・企画・運営に尽力した。 ○能古見少年剣道クラブの館長として競技の普及・振興・発展に尽力するとともに、青少年の健全育成や指導者の人材育成に大きく貢献している。
9	ふくやま のぶお 福山 暢生	(一財)鹿島市 スポーツ協会	○競技者として輝かしい実績を残し、その後は多忙な稼業にもかかわらず地域の柔道の育成発展に大きく寄与している。 ○柔道の競技人口の減少に危機感を持ち、若手指導者の育成と少年柔道の活性化に尽力するとともに、多数の国体選手や全国で活躍する選手や指導者を育成している。現在、鹿島市柔道協会副会長(6年)
10	いけだ のぶよし 池田 喜慶	(一財)小城市 スポーツ協会	○永年にわたり、三日月町の剣道競技の普及・振興に大きく寄与するとともに町スポーツ協会会長(16年)としてスポーツ全般の普及・振興に尽力し、合併後は、小城市スポーツ協会の運営・事業拡大等とともに市民スポーツの推進に尽力した。 ○県内一周駅伝選手として活躍後、現役選手への支援を積極的に行い、小城市の11連覇に貢献している。